



地域とともに

教科書では、学べないことも。

北海道大樹高等学校

〒089-2155 広尾郡大樹町緑町1番地

TEL 01558-6-2063 FAX 01558-6-2868

HP <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>

文責 校長・高橋 豊

貴重な学び！ 2年・地域デザイン「航空・宇宙」

5月26日(月)・27日(火)に実施しました。初日は、大樹町役場企画商工課航空宇宙推進室係長から、宇宙のまちづくりとそのPR方法や航空宇宙人材の育成についての講話をうかがい、お話をもととしたグループワークを行いました。2日目は、フィールドワークとして、「大樹町宇宙交流センターSORA」、滑走路、「北海道スペースポート(LCI・LCO)」を見学しました。SPACE COTAN(株)、インターステラテクノロジズ(株)それぞれの担当者からも事業や取組説明があり、生徒にとって大変貴重な学び、経験、時間となりました。関係の皆様、ありがとうございました。



課題2：大樹高校で航空宇宙人材を育成するには？

【現状】

大樹町では、航空宇宙という特色を教育にも活かそうと取り組んでいる。町内では、宇宙少年団による活動、JAXAとの連携協力協定に基づく各学校における出前授業、大樹高校宇宙ボランティアサークルの設立など様々な形で航空宇宙関連人材の育成が図られている。特徴的な活動が展開されている一方、航空宇宙人材を本格的に育成するためのプログラム・授業が現状で確立されているわけではなく、その方法を模索しているところ。

【課題】

大樹の子ども達が大人になる時には、人工衛星を積んだロケットが大樹の射場から定期的に打上がっているかもしれません。そういった未来が訪れた場合、航空宇宙関連企業が町内及びその周辺に多く集積している可能性があります。人口減少が叫ばれる昨今、宇宙のまちという特色を活かし宇宙人材を育成することで、大樹の子ども達が宇宙を学んだことで宇宙に興味を持ち、将来的に大樹にある宇宙関連企業に就職するなど、宇宙のまちづくりによる好循環が生まれること良いと考えています。こういった人材を育成するにはどのような取組が必要か。宇宙のまちづくりは、地方創生の有効な手段と考えている。



なかなかできないことです。

